

## 第1回大野市国土強靱化地域計画策定委員会

日時：令和2年2月27日（木）

午後1時30分～3時15分

場所：結とぴあ 3階 302号室

### 1 委嘱状交付

### 2 市長あいさつ

大規模な災害が全国各地で頻発している中、本市においても、いかなる災害が起こっても機能不全に陥らない、強靱な地域づくりと持続可能なまちづくりを推進するため、「大野市国土強靱化地域計画」を策定することとした。

この計画は、現在、策定作業を進めている令和3年度以降の本市の長期的なまちづくりの方向性を示す「第六次大野市総合計画」と調和を取りながら、市の様々な計画の指針となるものであるため、各分野からの専門的なご意見・ご助言を反映させていきたい。

### 3 委員長、副委員長の選出

### 4 議事

#### (1) 大野市国土強靱化地域計画策定委員会について

策定委員会設置要綱により、委員会の目的、審議内容について説明。

#### (2) 大野市国土強靱化地域計画（前半・素案）について

国土強靱化とはどのようなものか、地域計画の位置づけ、法的根拠などについて説明し、計画の構成や内容について審議及び意見交換を行った。

#### (3) 国土強靱化地域計画に基づき実施される取組に対する関係府省庁（国）の支援について

地域計画に基づき実施することで受けられる国の支援について説明。

#### 【委員の皆さんの意見】

- 幹線道路除雪はされても、枝線が除雪されないことによる集落の孤立が心配。
- 雪崩によるインフラへの被害が心配。保安林の管理が重要。
- 民生委員の活動において、平時から協力できる機関や人材との連絡体制の確立が重要。
- 雪崩は起こるものと認識しており、人員削減の中で対応が厳しい状況もあるが、基幹となる道路はしっかり対応していきたい。
- 防災マップを活用し、個々の状況に応じ、どの災害が起きた時にどのように行動すれば良いかが明確化されていると良い。
- 生活物資をどこへ取りに行けば良いのか、備蓄物資が末端の住民に到達するか気になる。

- 区長や民生委員の担い手がなくなる懸念があり、人口が減少していることを踏まえたソフト面の改革が必要。
- 中部縦貫自動車道が開通すれば輸送ルートの確保がされるであろう。
- 電力事業において、電柱付近の木の伐採、電線のルート変更、電線自体の補強を行い、強靱化を図っている。雪害については、電柱上の積雪対策などを計画的に進行中である。
- 通信事業において、老朽化対策、設備の強靱化対策を実施している。災害対応用の固定優先電話として、避難所の特設公衆電話の普及促進を図っている。
- 上水道、簡易水道に入りながら井戸水も確保している施設などがあり、リスク分散している。
- 地域コミュニティの維持に関し、高齢化が進んでおり、災害時に指定避難所へ連れていけないとの住民の声がある。地域の民間企業の2階に避難をさせてもらえるよう自主防衛組織独自の協定締結を考えている。
- 指定避難所が複数指定されており、災害時に区長としてどのように誘導してよいか迷う。
- 地域の強靱化にはハード面とソフト面の取組があるが、地域コミュニティの維持はソフト面の強靱化として重要となる。

## 5 意見交換

### 【委員の皆さんの意見】

- 大野市は長い間、大きな災害を経験しておらず、行政、住民がそれぞれの役割を担うことに気付いていないのではないかと。国土強靱化を進めるうえで、地域の方の役割、行政の役割に対する理解も進めていけると良い。
- 大野市でも台風災害に関するタイムラインを作成していると思うが、住民への周知について強靱化計画に盛り込んではいかがか。
- タイムラインの作成、周知については地域防災計画の範疇になり、国土強靱化ではタイムラインをどう活用していくのかということになるのではないかと。

## 4 その他

## 5 閉会